

滋賀の縁創造実践センター 平成27年度の事業報告

事業推進の基本姿勢

- ①最先端の“福祉”支援情報と考え方を提示する
- ②最先端の“福祉”アクション(実践)モデルを提案する
- ③生活者目線で暮らしの課題をウオッチングし続ける
- ④最先端のアクション(実践)モデルと草の根のアクション(実践)モデルを融合させる
- ⑤“おめでとう”から“ありがとう”まで、生活を支える多職種の連携、顔の見える関係、対話を大切にする

1 地域ぐるみのプラットフォームづくり

5年間の目標⇒ 縁・共生の場づくり 300か所(概ね小学校区に一つ)
⇒ 課題解決のためのネットワークづくり 15か所
(概ね福祉事務所単位)

(1)リーディングプロジェクト

①「遊べる学べる淡海子ども食堂」推進事業

- ・淡海子ども食堂モデル事業 16か所(8市1町)
- ・地域に子ども食堂をつくろう！研修会 30名参加
- ・淡海子ども食堂交流会 35名参加

②“縁”認証事業

- ・縁認証 9団体 社会福祉法人真盛園地域交流センター老いも若きも
高島市の地区ボランティアセンター6か所
NPO 法人もの忘れカフェの仲間たち“仕事の場”
社会福祉法人虹の会 移動商店街ぎょうれつ本舗
- ・奨励 2団体 男性介護者のつどい「中北の家」
地域交流センターななまがり

(2)課題解決のためのネットワークづくり

①福祉圏域での支援者交流会

- ・大津、湖南、甲賀、湖東、湖北

②気づきシートを活用した支援者の力量アップ支援

- ・社会福祉士会スタッフによる訪問活動

③縁塾(多職種連携のためのチームづくりを学ぶ場)

- ・7圏域すべてで開催(地元の職員の「気づき」を題材に) 137名参加
- ・公私協働のマネジメント研修(県域で) 20名参加

(3) 会員の拡大

- ・法人会員 4 法人新規(全 197 法人)
- ・個人会員 14 人新規(全 20 人)
- ・賛助会員 4 新規(全 6)

2 制度だけで対応できない生活課題の解決のためのモデル事業の企画と実施

5年間の目標⇒ 15事業の実施

(1) 企画会議の開催

- 課題別小委員会と、リーダー会議の開催

(2) 要養護児童の自立支援小委員会モデル事業 <自立への土台づくり事業>

① ハローわくわく仕事体験事業

- ・協力事業所の開拓 73 企業・事業所が登録
- ・協力事業所での就労体験 のべ 24 名が体験
- ・働くことを知る、見る、考えるセミナー 4 回 中高生 50 名、支援者 80 名

② 要養護児童への理解をすすめるための啓発冊子づくり

③ 施設職員、里親のためのセミナー 31 名参加

(3) ひきこもり等の支援小委員会モデル事業

① ひきこもりの人と家族の支援甲賀モデル事業

- ・さわらび福祉会による訪問型支援と居場所の開設
- ・甲賀モデル事業運営会議によるバックアップ

② 家族と支援者交流会

- ・働く場(東近江市)の見学と交流

(4) 制度の横だし・運用改善小委員会モデル事業

① 医療ケアを要する重度障害児者の入浴支援モデル事業

- ・生活介護事業所での訪問入浴モデル(草津市) 2 名
- ・近隣の高齢者施設を活用した入浴モデル(大津市、日野町) 2 名

(5) 居場所づくり小委員会モデル事業

① 不登校等しんどさを抱える子どもの居場所「フリースペース」事業

- ・カーサ(大津市)H27 年 3 月～ 火曜日(2 家族 6 名)
- ・かなで(大津市)H27 年 7 月～ 金曜日(1 家族 2 名)
- ・アイリス(大津市)H28 年 1 月～ 木曜日(1 家族 2 名)
- ・せせらぎ(甲賀市)H27 年 9 月～ 火曜日(1 家族 3 名)
- ・ふるさと(彦根市)H28 年 2 月～ 水曜日(1 家族 2 名)
- ・ふじの里(高島市)H28 年 3 月～ 水曜日(2 家族 5 名)

② 障害のある中高年者と家族のゆっくりできる居場所づくりの検討

(6) 生きづらさを抱える人の働く場づくり小委員会モデル事業〈「働きたい」を応援事業〉

① 傍楽体験

- ・県社協事務局内で仕事を切り出し、毎月2回約5名ずつが半日の就労
- ・地域若者サポートステーションとの連携事業として、11月から実施

(7) 若年認知症および軽度認知症の人の「ケアとしての仕事の場」プロジェクト

(8) ひとり親家庭の子育てに関する実態調査

- ・県民生委員児童委員協議会連合会との共同事業として、県内の全民生委員児童委員(約3000人)が協力して実施 3月に調査票配布→4月に実施し回収
- ・研究者、実務者で調査委員会を設置(三菱総合研究所の協力)

3 国、県、市町への施策提案

5年間の目標⇒ 20の提案

(1) 協定にもとづく知事との懇談会 5月13日に開催

(2) 施策提案 7月に健康医療福祉部への提案。9月に知事への提案

「子どもの笑顔を育むコミュニティづくりをととした豊かな滋賀の創造」

提案1 全員参加型公私協働で進める「遊べる学べる淡海子ども食堂」推進事業

- ① 官民がともに参画する(仮称)子どもの笑顔を育む縁ネットの設立
- ② 官民協働による運営支援
 - ・子ども未来基金の増資と同基金を活用した子ども食堂の運営支援
 - ・淡海子ども食堂フードバンクの実施
 - ・県発注工事、調達等入札の参加資格審査にかかる評価項目への反映
- ③ 持続的な運営を支えるしくみづくり
 - ・高齢者の生きがい就労の促進
 - ・コミュニティビジネスの手法を活用した地域食堂への展開
 - ・社会福祉法人による地域貢献の促進
- ④ スクールソーシャルワーカー活用事業の拡充
- ⑤ 県全域の事業コーディネーターの配置

提案2 児童養護施設や里親のもとで育つ子ども・若者の社会への架け橋づくり

提案3 制度で対応できないひきこもりの人と家族への支援

4 縁・支え合いの県民運動

5年間の目標⇒ 新たに福祉のボランティア体験をする人 10,000 人
※100 施設×2 回体験事業実施×10 人×5 年

- (1) 県ボランティアセンターによる「福祉施設で福祉ボランティア体験」事業
 - 体験事業の登録 104 施設、助成申請企画 14 本(100 名体験)
- (2) 縁ピンバッジの普及による県民運動(縁づくり)
 - 行事等での頒布 232 個

5 広報活動・縁結び事業

(1) 広報活動

- ① えにし通信 年 4 回(6 月、9 月、12 月) 各 8,000 部
- ② ニュースレター 10 回発行
- ③ ホームページやフェイスブックの機能強化

(2) 縁結び事業

① 男女の縁結び

- ・心ほかほか♥かまど縁結び 男性 10 名、女性 7 名参加、4 組カップル誕生
- ・春こい♥えにしカレー 男性 14 名、女性 7 名参加予定

② ふく楽 Café 縁

- ・第 1 回北部編 滋賀文教短大、びわこ学院大、聖泉大、滋賀大、
県立大の学生に呼びかけ 5 名参加
- ・第 2 回龍谷大学編 26 名参加

6 会務の運営

(1) 総会とシンポジウム 平成 27 年 4 月 28 日(火) 107 名参加

(2) 理事会

- 第 1 回 平成 27 年 5 月 20 日(水)
- 第 2 回 平成 28 年 3 月 15 日(火)

(3) 正副代表理事会議

- 第 1 回 平成 27 年 4 月 14 日(火)
- 第 2 回 平成 27 年 6 月 2 日(火)
- 第 3 回 平成 27 年 8 月 4 日(火)
- 第 4 回 平成 27 年 10 月 9 日(金)
- 第 5 回 平成 27 年 12 月 7 日(月)
- 第 6 回 平成 28 年 2 月 3 日(水)
- 第 7 回 平成 28 年 3 月 11 日(金)